

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372000980
事業所名	グループホーム青葉の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「活力ある生活を～」と願いつつも、車いすが必要な利用者が増え続けて悩みとしていたところ、自治会長から「出ていけないなら、来てもらえばいい」の助言を受け、10名余の生徒を受け入れるに至っています。利用者にとって子どもに会えることは一種のときめきであり、普段のレクリエーションでは出ない声が上がったり、いつもは散歩に「行きたくない」と言う人の足が動いたり、功奏しています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、地域、行政が顔を揃えて隔月開催が叶っている運営推進会議では、昨年に引き続き災害が起きた場合の対応策についてメンバーから質問や懸案がよくあり、自治会長がハザードマップを携えて出席くださる回もあります。周辺に民家がほとんどなく、何かあれば孤立を余儀なくされる立地を心配くださる面々に事業所としても頭が下がる想いで開催を重ねています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 本年10月には実地指導があり、事前提出の書類を整えるにあたっては豊橋市並びに三河広域連合の窓口へ管理者が向かっています。不明点は丁寧に教えてもらえ、実地指導とともに、大変勉強となる機会を得ています。また地域包括支援センターからは運営推進会議の出席に合わせて研修会等貴重な情報を普段から得ることができています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「毎月の請求書は手渡し」として、家族と月に1度はコミュニケーションがとれる機会を持ち、同時に2ヶ月に1度運営推進会議の内容報告と次回案内を渡しています。利用者本人の常の様子は書面で用意はしていませんが、介護記録を見せながら居室担当者と直接話し合うことを旨としています。利用者の家族には農家が多く、柿やシイタケ、タケノコ等が届くとのエピソードからは親交の高さが覗えます。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎